

総務委員長報告

(松永忠次副委員長)

議案7件を原案可決、請願2件を採択

【議案第18号】南島原市会計年度任用職員の報酬等に関する条例の制定について

質疑 この条例は市が独自で決められたのか。

答弁 国等のマニュアルに沿って市独自で定めた。

質疑 納税組合長、農事組合長、自治会長はこの条例でどのようにあてはまるのか。

答弁 今回の改正で報酬を払うのは適当でないとなっている。

【議案第19号】南島原市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について

質疑 なぜ、この時期に条例を改正するのか。

答弁 会計年度任用職員の報酬等に関する条例の改正に伴うもので、非常勤職員の処遇改善と任用の厳格化を行うものである。

質疑 6,700万円の委託費の内容は。

答弁 薬液注入工事として計上させていただいている。

【議案第23号】新市建設計画の変更について

質疑 合併特例債の残額と利用可能額は。

答弁 上限は338億円で、今回の補正を入れて259億4,430万円を活用見込みで、残額は79億1,190万円。

【議案第24号】口ノ津港ターミナル新築工事請負契約の変更について

質疑 今からの工事ではなく、既に工事を終了したところ。今回予算も組むのか。

答弁 同じ費目の中に予算残があったので、違反とまでは言えないと思うが、事務の内容としては不適切である。

質疑 平均15cm下がったというのは解消したのか。

答弁 平成30年6月に薬液注入を決定して注入を行ったが、その後地盤沈下は確認していない。

文教厚生委員長報告

(田中次廣委員長)

議案6件を原案可決、請願2件を採択

【議案第25号】財産の取得について(職員用パソコン)

質疑 パソコンの処分方法は。

答弁 記憶媒体を破棄した後、廃棄している。何台かは予備用として確保している。

【議案第27号】令和元年度南島原市一般会計補正予算(第2号)

(総務部関係)

質疑 防犯灯で、自治会から申し出た分全てということか。来年度回す分はないのか。

答弁 本年度要望、要請があった分すべて網羅して、594万円をお願いするもの。来年度に回す分はない。

(地域振興部関係)

質疑 ふるさと納税で諸経費を引いた市が活用できる額は。

答弁 約2億5,700万円になる。

【議案第27号】令和元年度南島原市一般会計補正予算(第2号)

質疑 新給食センターに係るアンケートをみると、「建設に賛成」3分の1、「現場の声がよく生かされている」0%で、「新給食センターへの期待はあまりしていない」が非常に多かったが、「見直し」はされたのか。

答弁 給食センターの設置については、教育委員会が責任者なので、当然、市や議会の了解を得て判断するものと考えている。アンケート内容について、隅々まで理解が行き渡っていないかったのは、給食会事務局、教育委員会も反省し、情報共有に努めていく。

質疑 給食センターについては、いろんな考えがあるが一つと思っっている。3センターでしたとき、維持管理費、運営費も当然かかってくる。今の口之津、深江を残したときに衛生管理上の新基準に該当していない。安心・安全な給食を提供するには、2つの施設を改修し事業費をかけないといけない、そこが問題だ

と思うが。

答弁 深江、口之津は新基準、アレルギーに対応していないので、市内すべての児童・生徒に同じような安全・安心な給食を提供するためには、3センターではなく、この度、1センターのほうにしている。

質疑 配送の時間的問題も言われるが、基準は2時間以内になっていると思う。温かいものは温かく、冷たいものは冷たく、食器なども、対応したものがあると思うが。

答弁 配送は、出来上がって2時間以内と決まっております。今、西有家から加津佐中学校が、大体20分、30分で配送している。加津佐でも「ぬるい」との声はないので、温かく食べていただいている。

【議案第27号】令和元年度南島原市一般会計補正予算(第2号)

質疑 配送問題は、2時間とあったが、もっと早く食べたほうがいい、食中毒対応で、1カ所の場合、全部に影響があるが、3カ所だったら一つで済む。これまでもアレルギー対策はできており、他の市町もできています。同じものを食べさせなくても、3カ所だった

ら3種類あるのがいいと思う。地産地消についても、これまで納めていた生産者の方が、「もう、できない」と言われていることも聞くが。

答弁 地産地消については、これから納入業者と話し合いをし、品目ごとの話し合いも予定している。アレルギー対策は、現在各センターで工夫し、除去食、対応食でしているが、国の指針に基づいてアレルギー対応食の提供は、アレルギー室が完備していないので、本市では、1品目から始め調理員が慣れたら、品目を広げていく。食中毒対応については、1カ所で食中毒が発生した場合、全部に供給できない。現在、6センターそれぞれで食中毒対策をし、リスクが分散しており、1センターだけのリスク管理をするという利点もある。

質疑 給食センター建設に向けての説明の折り、配送時の交通関係で、道路関係がきちんと話がいけないと、建設はできないという意見も出たが、配送のための道路は、計画どおり整備も行われているのか。

答弁 現在、給食センターに隣接の山側のほうで、建設部で着工している。